

かがやき



大島彰さん演奏中 ～かがやく町民のつどいにて～

主な内容

- ・かがやく町民のつどい
- ・芳賀町女性団体連絡協議会総会
- ・先進地視察
- ・日本女性会議2004
- ・女性模擬議会
- ・かがやいています
- ・小さいこえ、大きい声
- ・活動のようす

二〇〇四年夏、オリンピックが、アテネで開催されました。各選手へ「力強い気合」の言葉で、選手は競技に実力を発揮し、栄光に輝いた選手達、また夢にかなわず悔む選手の姿、全国民が感動と涙のオリンピック大会でした。今年も、思ってもみない台風の上陸が多く、各地域の災害や、作物の被害のため、野菜類が不足し高値で人々の生活を狂わせました。そして突然の地震により、新潟中越地震災害地の、皆様の生活状況は、毎日報道されております。心よりお見舞いを申し上げます。私達の町は、環境の良さと、自然の豊かな郷土であり、住みよい町に感謝をしております。

活動のようす

日赤奉仕団

今年も、かつてない自然災害多発に見舞われ、大きな被害にあわれた方々へ救護活動の一部として、三宅島に続き、新潟中越地震義援金を、お送り致しました。今後も息の長い支援を続けたいと思っています。活動は、研修会での講演や救



急法、介護法、非常食の炊き出し等、毎年、継続的に開催しております。今年度は、誰もが避けては通れない老い、いつあるか分からない、介護への心の準備、と致しまして、ご希望が多かった、車椅子、介護法の実技を行いました。今後も、体験や、活動の輪を広げ、女性だから出来る価値のある仕事に、素敵に輝いて、優しく、温もりのある活動をして参りたく存じます。

活動内容

活動場所	日赤病院内
活動日	毎月第一金曜日
活動時間	九時～十一時三十分
活動内容	ガーゼたたみ等
祖母井地区	4月 5月 10月 1月
水橋地区	7月 8月 11月 2月
南高地区	6月 9月 12月 3月

(委員長 菅原 キン)

商工会女性部



ひまわりリサイクル会のみなさん

又、日帰り研修会として全国的に元気を失う商店街が多い中、活気にあふれる巣鴨地蔵通り商店街を探索しました。商品、サービス、店を昭和三十年代の町並みを目指しているそうです。商店街活性化の基本としていることは「職住一致」だそうです。店に住むから愛着がわくし自分の問題として地域活性化に取り組む事ができるはず、街づくりは人間関係が基本です。いろいろ学んだ一日体験でした。

小堀 光子

編集委員

稲川 清子 関 年子
小林 峰子 田川 典子
小堀 光子 増渕さつき
斎藤 芳子 山本 妙子
菅原 キン

ご寄稿いただきました皆様ありがとうございました。

(委員一同)

第四回

かがやく町民のつどい

平成十六年八月二十九日(日)
芳賀町民会館ホール
電子オルガン演奏会



西高橋 渡辺 カツ子

昨年八月全盲の電子オルガン奏者大島彰さんの演奏を聴いた。光を失い障害を乗り越えての演奏に感動した。その上ハンディを感じさせない明るい人柄に頭



が下がりました。幼少の頃母親に「月が見たい」とせがんだ時母親はただ彼を抱きしめ泣いたと言う。どんなに辛かった事でしょう。その時彼は「泣かなくていいよ頑張るから」と言ってくれたという。思わず涙が流れた。

最後に彼は「やれば出来る。夢は叶う」と話してくれた。この演奏会は会場の人達や体に障害を持つ人達に感動と大きな励みを与えてくれました。この素晴らしい時間を企画して下さいました役員の皆様から御礼申し上げます。

※町外の方より、感謝のお手紙をいただきました。ご紹介させていただきます。

先日は芳賀町民会館に於て大島彰先生の演奏会に出会える機

会を作って下さった芳賀町の御婦人の皆さまに心から感謝致します。

私の想像を絶する電子オルガンの世界と同時に、大島先生の大きなすばらしい人間性に触れることが出来ました。

私のこれからの人生に大きな力を戴くことが出来ました。今後の皆さまの御健康と御活躍、心から御祈り致します。本当にありがとうございました。

宇都宮市 H・Iさん



全盲の電子オルガン奏者

大島 彰

「神様が私に目を下さらなかったのは、この苦しみを通して同じ境遇にある人々のお役に立てる使命があるのだ。肉眼は見えなくても、神様は心の目だけは開けていて下さる。」

私はいくつかの体験を通じて、そのことを知らされました。私にできることは、オルガンを弾くことにより、人様に生きる喜びを見いだして頂く、そのことが私がこの世の中に生まれてきた理由であると思います。連続一〇〇時間演奏やブラジル等の海外公演、小・中・高校等の学内演奏、ボランティア活動を通じてこの考え方を大勢の人に伝えることを生涯の使命にしたいと思います。

(奏者のコメントより抜粋)

平成十六年度
芳賀町女性団体連絡協議会
(かがやく女性の会) 総会

五月二十九日(土) 町民会館研修室において、森町長、並びに御来賓の方々のご臨席をいただき、盛大に総会を開催いたしました。本年は役員改選の年であり、新役員のもと、再出発いたしました。

総会終了後、小山佳子さんの海外研修報告会がありました。



新会長 田川 典子

今年十六年度、女性団体連絡協議会は役員改選となりました。会長と言う大役を引き受ける責任の重大さに身の引き締る思いです。

女性団体の活動は女性の特性を



前会長 黒崎 幸恵

生かした、発想や感性で事業活動を行っていきたいと思います。去る八月二十九日、かがやく町民のつどいは、五周年を迎えた記念事業として、障害を乗り越えた、全盲の大島さんの電子オルガン演奏会を開催いたしました。お客様より感動したとの言葉をいただき主催者として、うれしく思いました。

総会を無事に終えて、役目を果たし得た安堵と共に充実感がよぎりました。思い起せば、町女性団体連絡協議会の発足にかわり、会則の策定をはじめ、会の礎づくりに励んだ五年間でした。その間、会長として大過なく勤めることが出来たのは、町のご指導と役員さんのご協力、更に町民の皆様のご支援あって

のことと心から感謝をいたしております。新役員体制のもとで、町女団連が益々発展しますことを祈念いたします。



前副会長 小筆 公子

黒崎前会長さんを始め、多くの役員の方々に支えられ、六

年間の活動を終えることが出来ました。女性のつどい実行委員会から女団連発足に至るまでの、諸々の想い出が蘇ってきます。年一回発行の広報誌「かがやく」も、表紙をカラーにし、町民に読んでいただける紙面づくりを目指し、編集にあたってきました。ご寄稿くださった方々に、厚くお礼申し上げます。芳賀町女団連の、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

平成16年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名	地区名
会長	田川 典子	芳賀町商工会女性部	祖母井
副会長	斎藤 芳子	芳賀町ひばりの会	東水沼
副会長	安保百合世	芳賀町くらしの会	下高根沢
書記	山本 妙子	JAはが野芳賀地区女性会	上延生
"	稲川 清子	芳賀町食生活改善推進委員会	与能
"	大塚 由美	事務局	
会計	小林 恭子	農村生活研究グループ	下高根沢
"	増渕さつき	芳賀町くらしの会	東水沼
理事	田中ハマ子	芳賀町商工会女性部	西水沼
"	小堀 光子	芳賀町商工会女性部	祖母井
"	水沼 サヨ	芳賀町食生活改善推進委員会	祖母井
"	関 年子	厚生保護女性会	下高根沢
"	国井アヤ子	"	稲毛田
"	黒崎 幸恵	JAはが野芳賀地区女性会	下高根沢
"	見目トキ子	"	東高橋
"	大野谷 幸	芳賀町ひばりの会	東高橋
"	人見 典子	"	下高根沢
"	岡田 順子	芳賀町くらしの会	西高橋
"	黒崎 正子	農村生活研究グループ	下高根沢
"	小林 峰子	"	東高橋
"	菅原 キン	日本赤十字奉仕団	下高根沢
"	荒井三津子	"	東高橋
監事	綱川 知子	芳賀町食生活改善推進委員会	給部
"	矢口 マサ	更生保護女性会	東水沼
"	山本恵美子	日本赤十字奉仕団	稲毛田

塩原町は国連との交流会

去る十月十八日、私たちは、会場である塩原公民館を訪れました。季節の花々と、目前には雄大な山々、そして会員の方々の笑顔による歓迎を受けました。お互いの自己紹介のあと、交流会の目的である活動状況等について話し合いが進められました。

塩原町は設立して五年。着実に活動が展開されていきました。県内随一の温泉場であり尾崎紅葉等文豪も多く訪れた歴史と文化の町でもある。女性団体も多種多様で、豊富さを感じました。国立視力障害者センターがあり、障害者へのボランティア活動の充実、「もの語り館」での民話の公開等、魅力ある街づくりに貢献していると強く感じました。地域性と活動形態は違っても、目指すものは同じです。今後お互いに情報交換をし、より良い

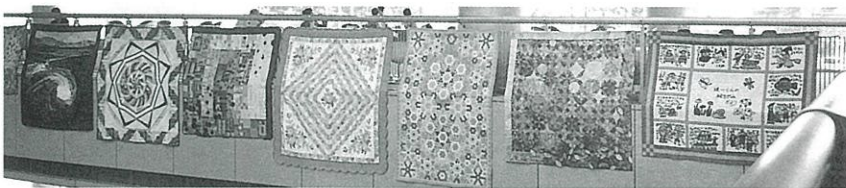
活動をしようと言いつつ塩原町を後にしました。

安保 百合世



日本女性会議 2004まつやま

2004年10月22日(金)・23日(土)開催



300枚のキルトがお出迎え

労働基準法・育児・介護休業法の改正、そして男女共同参画社会基本法の公布、施行と法整備は進んできている。

男女共同参画社会という言葉が聞いただけで辟易する人もいるが、めざす所は誰もが本当に生きやすい社会なのだと思う。性別や年齢にかかわらず個性と能力を発揮し共に責任を担っていく社会の実現をめざし、それぞれ暮らしている地域で何ができるのか。大きな宿題と目標をいただいていた。

今回は福井の地で開かれるので、多くの方がこの熱気にふられるよう望みます。

増淵 さつき



女性団体より参加

第四回 芳賀町女性模擬議会開催

第四回芳賀町女性模擬議会が二月一日に行われました。町長はじめ関係者の皆さまに御助言、御協力をいただき大変感謝しております。六回の学習会を重ね、質問内容も決定し、当日は十七名の議員の皆さんも堂々と質問することができました。

将来ある青少年が少しでも夢・希望の持てる環境作り、安全で安心な芳賀町にと願う気持ちで学校関係の諸問題、中学校の老朽化・少人数学級制、高齢化対策の問題点、交通手段、総合情報館などのさまざまな質問が出されました。

議員の皆さんが、身近な問題に真剣に取り組む姿勢に胸打たれました。これからの町づくりに少しでも参考にしていただければ幸いです。

(模擬議会議長 黒埼 和子)

● 模擬議員名 ●

阿久津和子	稲川 栄子	石川 伸江
稲川 栄子	稲川 清子	黒埼 和子
大根田まゆみ	黒埼 和子	酒井 由理
小林 俊子	酒井 由理	黒埼 和子
塩野 由子	関本 正枝	酒井 由理
綱川 孝子	直井ノリ子	酒井 由理
廣木 初江	船生 華子	酒井 由理
山城 光子		酒井 由理

模擬議会に参加して

東水沼 酒井 由里

私は芳賀町に住むようになり五年になりますが、女性模擬議員になるまでは町政に関心がありませんでした。十月十日、第四回芳賀町女性模擬議員委嘱書が十七名に交付されました。六回の学習会の中には、芳賀中学校模擬議会傍聴や芳賀町議会定例会の傍聴があり、私自身とても勉強になりました。質問事項の検討時には真剣に意見交換がかわされました。わからないことなどは役場に行き、職員の方に教えていただきながら、一般質問通告書ができました。

二月一日、七名の女性模擬議員が登壇致しました。どの質問にも、町長さんはじめ町執行部の皆さまが、わかりやすい答弁をしてくださいました。私は、訪問介護員の仕事をしていることもあり、介護保険のことについて質問させていただきました。



栃木県女性の海外研修に

参加して

下延生 広木 初江



向かって右が広木さん

皆さんに感謝

第二十五回の栃木県女性の海外研修に参加をさせて頂きました。デンマーク・コペンハーゲンでは『女性問題審議会』から『ダンナーハウス』『ナースングホーム』『自然保護基金』『企業』『保育所』『市役所』など。フランスでは『国立女性家族情報資料センター』『小学校』『ゴミ処理施設』などを訪ね、ホームス

ティまで経験しました。

既にこの研修に参加された方が、熱心過ぎるほど参加を勧めて下さいました。十日間も、しかも海外は初めて。フランス語もできないのにホームステイとは…。

でも、今は感謝の気持ちでいっぱいです。この素晴らしい研修で学んだことを役立てたいし、一人でも多くの人に伝えたいと思っています。

しかし、現実には厳しく、「偉そうに」とか「関係ない事だわ」と、男女共同参画社会の入口にも届きません。ここでは、女性が女性への偏見を無くすのに、しばらくかかるのかもしれない。



男性の子育て参加は当然のこと

NPO法人 ロマンいちば

広田マリ子

ゆめ

私には二つの夢があります。一つは自然農法で自給自足の生活すること。もう一つは、保育士の経験を生かして、子育て世代の人々の力になることです。

三年前、家で孫をみることで、気付いたことがたくさんありました。例えば、親子が安心して遊べる場が意外に少ない、など。周りにきいてみると、同じような思いを抱いている仲間がいることがわかり、誰もが気軽に立ち寄れる「子育てサロン」を、自分たちで開くことにしました。今では行政と共に、町内で二ヶ所開いています。そのほか要望に応じて託児などの支援活動も続けています。



育児サロンで遊ぶ子どもたち

今年の四月に娘家族が転勤になり、孫と離れて暮らすようになりましたが、寂しさを感じる間もなく、毎日のように子育て関係のことで出歩いています。自給自足の生活が満喫できるようになるのは、もう少し先になりそうです。

農業と子育て支援、どちらも地道な作業です。相田みつをさんの「つまづいたっていいじゃないか。人間だもの。」の詩と、子どもたちの輝く笑顔を支えに、諦めずに進んでいきたいと思っています。

かがやいています



下延生 篠崎 力夫

写経が心のやすらぎ

寺院に参詣し災いを少なくして貰うよう祈願していると思います。私も以前から写経に心をひかれ毎年行われる写経大会に参加し一年間の無事平穏を祈っています。般若心経を書写し自分のお願いを書き入れると、何かしら心が休まりほっとした安堵に包まれ、佛様に抱かれたような温かさを覚えます。生きて居られる喜びを胸に、これからも世の中に感謝しつつ、生甲斐のある生活を送りたいと思っています。

小さいこえ 大きい声

私は戦後の混乱からすっかり立ち直った今の社会で満足して生活しています。しかし、この満足している社会で極悪な犯罪が多発しています。何の関わりのない人々を殺したり、苦しみや悲しみのどん底に突き落としています。それは心の内にゆとりがなく、自分勝手の我儘で劣悪な行為です。でも、そんな事がいつ我が身に振りかかるか判りませんし、そんな災難をひとりでは防げません。ですから、人々は神社や



下高根沢 石川 浩子
(学童保育指導員)

手をつなぎ子育てを

少子、高齢、核家族の中、児童が帰宅しても養育にあたる家族がいないう家庭が多くなり、そ



芳賀中2年生 菅谷 和音

海外派遣に行って

「自由の国アメリカ」で受けた数々のカルチャーショックは、



私にたくさんのことを学ばせてくれました。

特にたくさんさんの驚きを感じたのは、学校訪問です。授業中にアメやガムを食べたり、水を含みに行ってしまう生徒はまだしも、食べ物や口をしながら授業をしていた先生には絶句しました。「自由の裏には責任がある」という言葉を身をもって理解することができた瞬間でした。他にも文化の違いをいろいろな場所で見ることができました。

毎日が新発見の連続だった十日間、体験したすべてが私の糧となりました。この海外派遣に関わって下さった方たちへ感謝をしながら、学んだことを必ずどこかで発揮していきたいと思っています。